

ファシリテーション研修の様子 (R1.8.20)

テーマ「農地利用最適化の活動に向けて」

鳥取県農業委員会女性協議会

●鳥取市の濱田会長をファシリテーター（進行役）として、4つのグループに分かれ、テーマを3つに絞り、全員で自由に意見を出し合い付箋紙に書き出し、テーマ別に整理した後、各グループごとに発表し、農業会議の上場会長からアドバイスをいただいた。



①担い手の問題

- ・地域の高齢化で担い手がいない。
どうする？若い人がいない、不安。
- ・農地を担い任せにせず、出来ることは積極的に協力し、集約化に繋げる。
- ・農業の楽しさを若い人へ伝えていく、魅力をPR。農業で生活できるように、担い手の育成が大切。
- ・空き家とセットの農地利用。
農業の学校・教室を作る。

②遊休農地対策

- ・面積が狭い畑は、借り手がなく荒れやすい。
- ・賃借から返却された農地の、次の耕作者への斡旋方法。
- ・災害後など、山側からごみで水路が詰まることが多く、農業委員会だけの問題とせず、林業分野を巻き込んで解消したい。



- ・農地パトロールで地域をしっかりと知る事で、相談を受けても事務局と連絡が取りやすくなった。

地域にあった作物を作る。

中間管理事業を希望しても、受け取ってもらえない土地がある。

小さい土地や変形地の借り手が見つから



ない。



②農地の集積・集約

- ・農地を貸したい人が出たら、まず隣の人へ声掛けをし話をしていく。
- ・農地の集積はできても、集約となると色々なしがらみもあり難しい。
- ・どうすれば条件の良い農地を新規就農者へ集積できるか。
- ・農地を貸してあげるではなく、作ってもらっているという地権者の意識を変える。

- ・地元の水利や土地所有者が分かる高齢者がいなくなった。
- ・条件の良い遊休農地は、共同作業で取組める農作物の栽培を推進する。
- ・土地を貸したくない所有者への、丁寧な説明を行う。
- ・山間地域での集積・集約は難しい。



(その他)

- ・鳥獣被害の対策（いのしし、鹿など）
- ・担当地域の割当面積や、農業者の人数が多く、負担が大きい
- ・農家の嫁がない。
- ・新規参入は、地元のフォローが大切。
- ・農業への関心をもってもらう、P R。



●今回の研修をもとに、地域での話し合いの手段の一つとして取り入れ、声の大きい人以外の意見も反映して、多様な意見や問題点などを参加者全員で共有し、これからの現場での活動につなげることとした。

